

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月19日		記入者	内線	756-3443
部 名	生涯学習部	課 名	総合学習センター	課長名	小川紳夫
事務事業名	市民大学事業				
予算上の事務事業名	市民大学実施経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15110		
基本目標	「学びあひあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 生涯学習機会の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
市民大学設置運営要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	なし				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 研修・講座 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
地域の大学・専門学校等と連携して、社会が抱える諸課題や市民の学習ニーズに応えた講座を開催し、市民への学習機会を提供することにより、市民の自発的な生涯学習活動を支援し、生涯学習社会の実現を目指す。			15歳以上の市民		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
定員：1,968人 受講者：1,248人 会場：相模女子大学、麻布大学、職業能力開発総合大学校、和泉短期大学、和泉福祉専門学校、女子美術大学、北里大学、総合電子専門学校、青山学院大学、桜美林大学、 講座数：31講座 合同開講式(会場：グリーンホール、参加者数：約334人) 市民大学連絡会(年2回) 市民大学懇談会(年2回)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他の自治体で実施する市民大学は、学習機会の提供を目的とするケースが多い。また、他自治体との共催(本市の場合は座間市との共催)で開催する市民大学は独特である。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	6,710	5,869	4,522	5,144	5,144
一般財源	6,710	5,869	4,522	5,144	4,144
受益者負担金	0	0	0	0	1,000
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	13,087	12,505	12,595	12,595	12,595
事業コスト合計(a)	19,797	18,374	17,117	17,739	17,739
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	市民大学実施事業			対象名称(単位)	受講者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	19,797	18,374	17,117	17,739	17,739
対象数	1,429	1,591	1,248	1,300	1,300
単位あたり経費(円)	13,854	11,549	13,716	13,645	13,645
前年度比		0.83	1.19	0.99	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	受講決定者数		指標式と指標の説明	受講決定者数 / 定員 (目標)		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	1,886.0	2,020.0	1,593.0			
目標	2,099.0	2,062.0	1,968.0	2,000.0	2,000.0	
目標達成度	0.90	0.98	0.81			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	受講率		指標式と指標の説明	受講者数 / 受講決定者 * 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	90.7	90.4	90.9			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	90.7	90.4	90.9			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]						
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]						
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		市民意見、行政課題等を取り入れて講座を実施してきているが、受益者負担を導入するとともに、今後、市民大学の方向性について検討を進める。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
受益者負担の導入と地域(市域)の課題解決に寄与する講座の充実と三者(市民・大学・行政)の連携を促進し、地域における人材発見・育成のための研究助成制度の創設を検討する。			共催市(座間市)や大学との調整(理解・協力)			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				